

萬世大路

東北中央自動車道
(福島～米沢北) 通信

第50号 平成26年12月 発行



工事紹介 ぱーと40

◇米沢大橋上部工工事

受注者: 日本鉄塔工業(株)

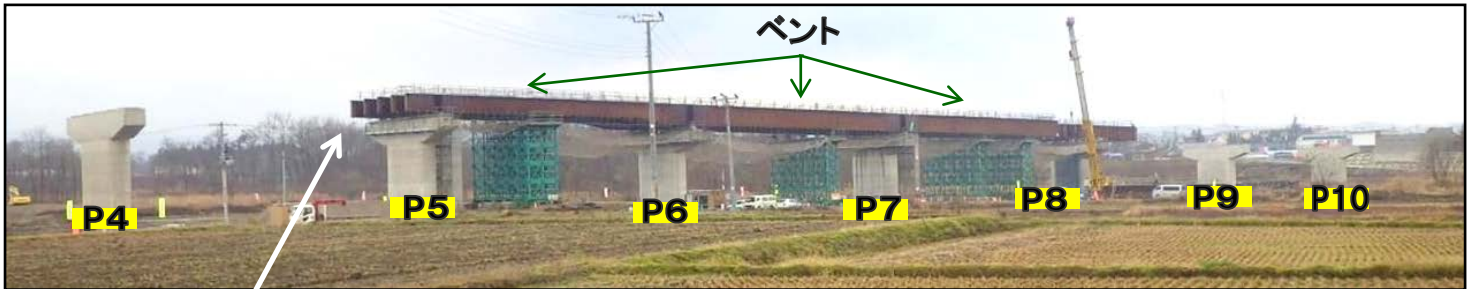
工期: H25年11月～H27年9月

米沢大橋(仮称)橋桁を架設しています!

完成するとJR奥羽本線、四ヶ村堰(水路)、羽黒川、最上川、サイクリングロードをまたぐ米沢で一番長い橋になります。

↓架設状況(H26. 11月下旬)

>>橋長: 447.5m
>>総幅員: 12.67m



アイ
I 桁を
5本並べます



フランジ
(突縁) ウェブ
(腹板)

A (アバット): 橋の上部工を支える橋台のことです。

P (ピアー): 橋脚・脚柱のことです。

ベント: 橋桁を仮受けするための仮橋脚のことです。

○橋桁の構造・・・

米沢大橋(仮称)の桁は、I(アイ)桁といわれ、1枚のウェブと2枚(上・下)のフランジから構成されています。

断面がアルファベットのI(アイ)の形に似ていることからI桁と呼ばれています。

○アイ桁の特徴・・・

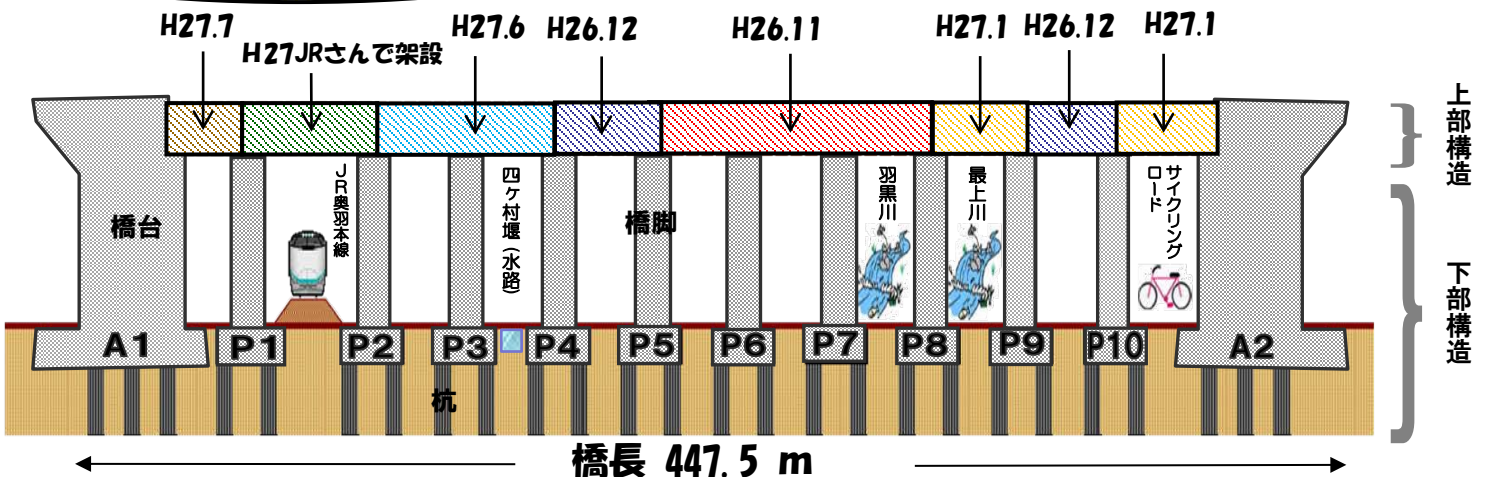
一番の長所は軽さです! 軽い=安価なため一般的な30m～60mの橋脚間で多く採用されます。

米沢大橋(仮称)の橋脚間の平均の長さは、約40mです。



架設スケジュール

平成27年の7月に架設完了を予定です!(現在の予定)



～工場製作から輸送まで～

米沢大橋(仮称)の橋桁は、福岡県北九州市の工場で作られました！



↑ 補剛材溶接ロボット

Iの状態にピースを組み合わせ、その後は溶接ロボットで補強するピース(補剛材)を取り付けます。



↑ 溶接

さらに高い技術をもった職人さん方の手溶接により、補剛材を組立てます。



↑ 非破壊検査

溶接の内部にきずなどがいないか、超音波の機械を使って検査を行います。

現場のエキスパート

～米沢大橋上部工工事～

安全 + 掲示板

今月の安全スローガン

- 墜落・転倒の災害防止
- 車両系機械の点検・整備
- 崩壊・倒壊の災害防止

工事作業所災害防止 施工体系図

無災害 記録表

目標時間	20000 時間
現在	5320 時間
年度	年 月 日～平成 年 月 日

全施工サイクル

監理技術者

日本鉄塔工業(株) 宗廣 一義さん

現場代理人

公門 稔博さん

当現場では、「安全で清潔な現場」というスローガンをモットーに作業員全員が、工場から運ばれてくる製品に汚れ、傷等を付けない様に細心の注意を払い日々作業に従事しています。

労働災害についても、橋梁上部工作の殆どが重量物の取り扱い及び高所作業が中心になります。

少しの気のゆるみから手足の切断、高所からの墜落等重大災害に繋がりがやすい職種なので日々、安全意識の向上、健康管理に気を配り作業員全員が無事故で工事完成を迎え、元気な姿で家族のもとへ帰って行って欲しいと考えています。



↑ 橋桁の仮組

工場の敷地内では設計通りに造られているか仮組します。



↑ 橋桁の運搬

北九州市からフェリーで仙台を經由し、その後はトレーラで輸送されます。

出発から最短で6日間で現場に到着します！



ご意見・お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局
山形河川国道事務所 米沢監督官詰所

〒992-0011 山形県米沢市中田町260-2
TEL: 0238-37-5570 FAX: 0238-37-5575
<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/banseitairo/banseitairo.html>

